



第23号  
2016年1月22日  
この通信は生徒と保護者の皆様に向けて、編集・発行しています。

## 最後が肝心

物事は最初が肝心とはよく言ったものです。確かに否定はしませんが、私は最初よりもむしろ最後が肝心だと思っています。中学校生活は山あり谷あり、良いことも悪いこともあったと思います。いろいろあったけど、最後によかったと思える終わり方をしたいですね。せっかく今まで頑張ってきたのに、最後に気が抜けて…。ということにならないようにしたいものです。残された中学校生活は30日ほどになりましたが、ここでの頑張りによって結果が大きく変わってきます。

## 受験シーズンに突入

せっかくこの時のために努力してきても、身だしなみやマナーなどで損をすることはもったいないです。もう一度確認してみましょう。

- ・服装は整っていますか？（名札・カッターシャツ・靴下の色・リボン・ホックなど）
- ・髪は大丈夫ですか？（長さは？色は？装飾品やワックスはついてませんか？）
- ・早寝・早起きの習慣（朝、起きたら雪ということもあります。）
- ・必ず公共交通機関を使うこと
- ・携帯電話はもちろん×
- ・入試の行き帰りはもちろん、出願の時から言動に気をつけましょう。
- ・早めに会場入りを。友達と待ち合わせていくのは極力さげましょう。（万が一友達が遅れたら自分も巻き込まれます。そもそも受験とは1人で臨むものです。）
- ・持ち物を確認して早めに用意しておきましょう。（受験票・筆記用具・弁当・スリッパ・交通費など、詳しくは各校の要項で確認してください。学校のスリッパが傷んでいる場合は買うか、家のものを用意してください。）
- ・適度な緊張はむしろ必要です。緊張を気合いにかえましょう。（部活動で培った集中力を発揮しよう。「この一球」「この一打」「この一投」…全部野球？）テスト用紙が配られたら祈りましょう。（神頼みは最後）
- ・公立一般受検を考えている人にとっては、私立受験は「通過点」です。帰ったら勉強しましょう。
- ・私立推薦の皆さんもまだ合格が決まったわけではありません。冬休みの課題や授業中の様子や学校生活全般（遅刻など）に甘さがみられる人が出てきました。2学期までの頑張りはどうしたのでしょうか。まさか3か月間頭を休めるつもりはないと思いますが、高校は入ってしまえばいい、というものではありません。（いずれ痛感すると思います。）大部分の生徒は公立一般受検（つまり卒業後）まで勉強します。仮に早めに進路が決まったとしても、勉強はするべきですし、周りの生徒の気持ちも考えてほしいと思います。お天道様は見えていますよ！

## 重要なお知らせです。（進路関係）

- 公立推薦願書下書き提出（1/27）…1/26に願書を配布します。
- 公立推薦願書清書提出（1/28）…受検料（2,200円）を古封筒に入れ、クラス・名前を表書きし、進路封筒に同封して担任の先生に提出します。
- 公立推薦願書・言葉による自己表現の原稿提出（2/1）
- 私立一般入試（2/3～2/5）…3時間授業 特別時間割 給食なし  
公立高校一般受検の願書を渡します。受検料を1校につき2,200円用意してください。
- 個人懇談（2/8～2/10）…公立の受検校を確認します。
- 公立推薦面接指導（2/8～2/10）…原稿を見ないで話せるようにしておいてください。
- 公立推薦出願（2/12）…給食後 荷物は会議室
- 公立推薦入試（2/17）…試験終了後は登校しないで、自宅学習です。
- 公立推薦入試合格発表（2/19）…午前10時 各高校で発表 発表を見てから、登校する
- 公立一般出願（2/23）…給食なし 3時間授業
- 公立面接指導（2/24・2/26）